

JASON Tips

NMJT_0013

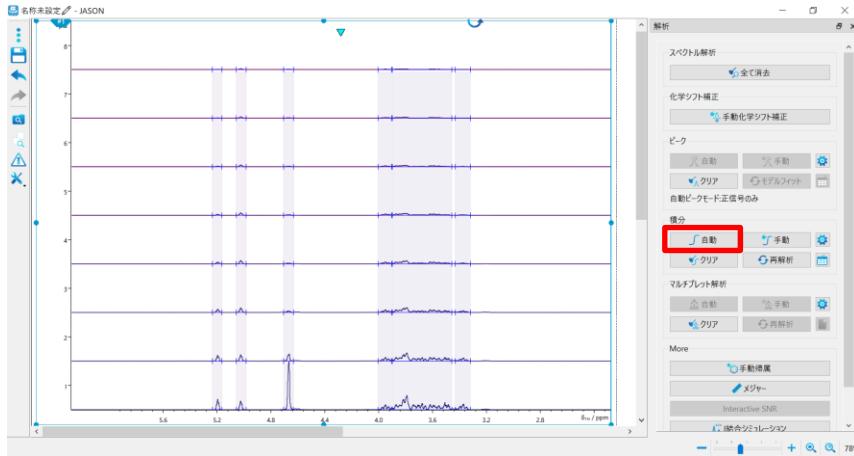
DOSY - 拡散係数の求め方 -

JASON
JEOL Analytical Software Network

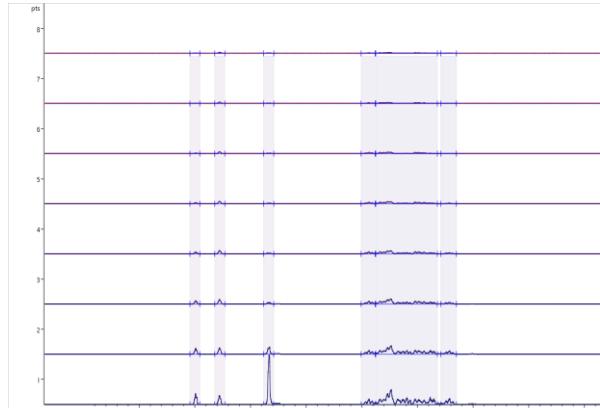
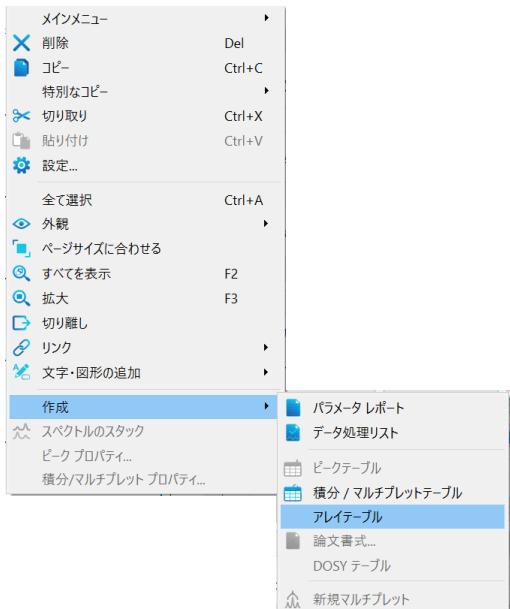


DOSY測定を行ったデータから拡散係数を求めます。

まずアレイデータを開き、自動積分を取ります。



スペクトル上で右クリックをし、[作成]⇒[アレイテーブル]を選び、アレイテーブルを作成します。



アレイテーブル

array(g)	3.320-3.432 ppm	3.457-3.899 ppm	3.905-4.005 ppm	4.633-4.706 ppm	4.985-5.058 ppm	5.164-5.235 ppm
300.00	46.37	951.67	181.67	71.46	171.85	32.24
277.98	64.63	1273.39	233.31	82.05	222.90	50.38
254.05	99.34	1731.84	307.35	92.51	290.54	79.92
227.63	159.33	2433.21	403.24	103.38	382.46	135.96
197.70	267.67	3514.12	534.20	133.71	507.74	240.98
162.35	475.02	5241.46	705.38	261.71	674.27	429.57
116.74	838.79	8058.82	945.51	1073.53	901.05	779.54
30.00	1487.39	1.27e+04	1236.56	6393.02	1184.01	1352.80

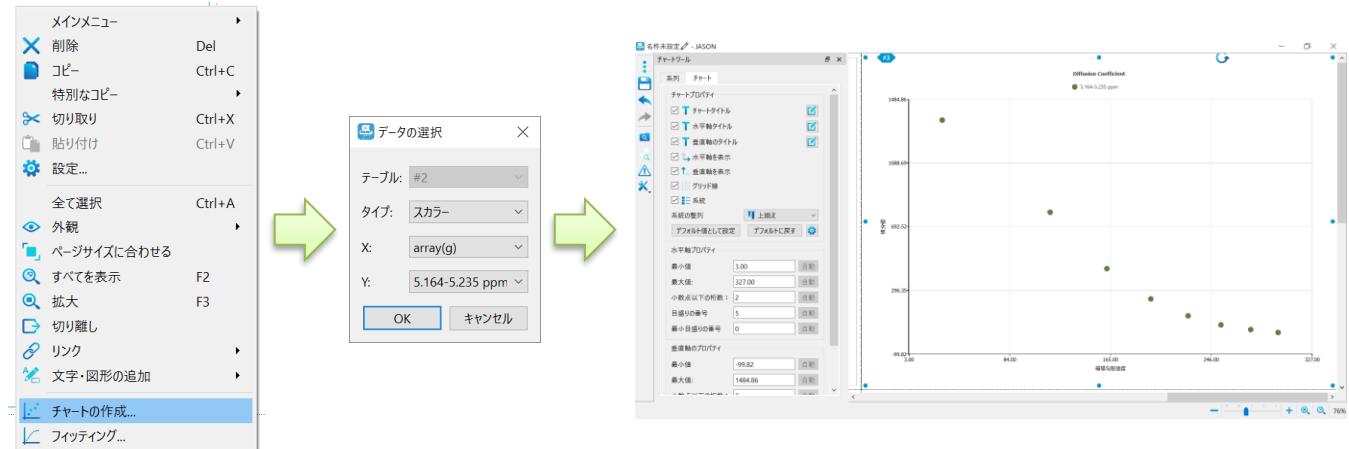
gの値

各信号の積分値

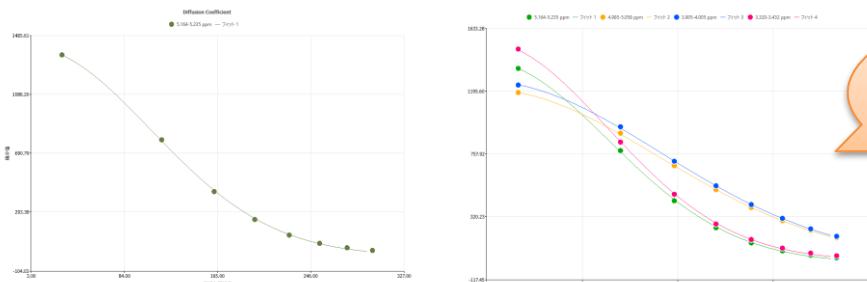
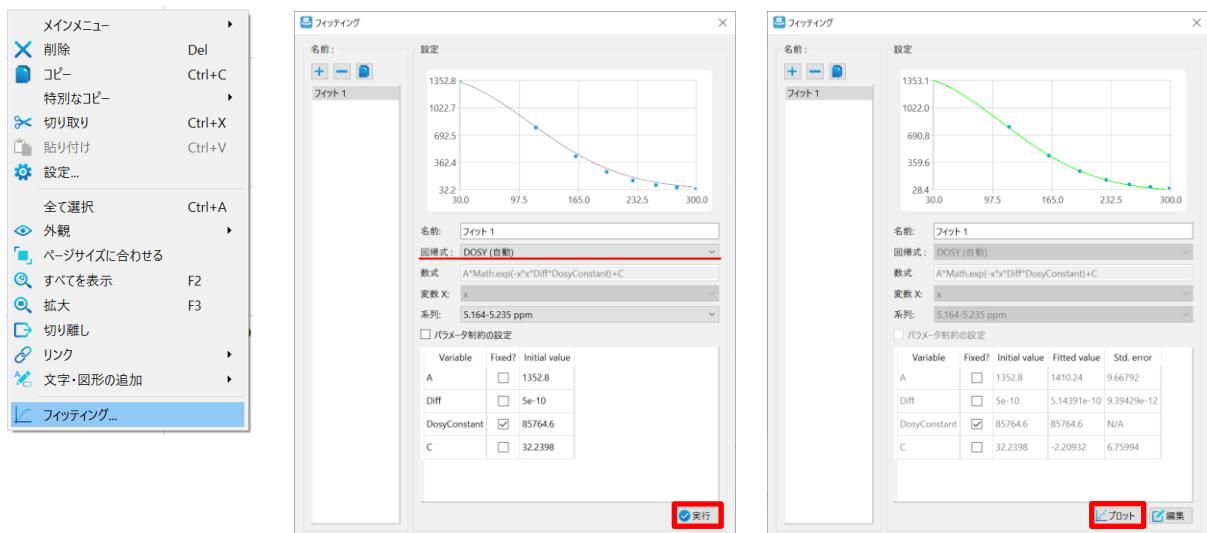
1/2



アレイデータ上で右クリックをし、[チャートの作成]を選択します。X軸、Y軸を設定後、[OK]を押すとチャートが作成されます。



拡散係数を求める場合はチャート上で右クリックし、[フィッティング]を選びます。新たにフィッティングの画面が開くので、回帰式を“DOSY(自動)”に設定後、実行を押します。フィッティング結果に問題がなければ、プロットを押すとチャートにフィッティング曲線が表示されます。



同一チャート内で
複数のプロット
表示も可能！

※これらは JASON(JEOL Analytical Software Network) ver.3.1 によるものです。